明治四十四年十一月廿五日發行
毎月一回廿五日發行

婦人新報

第百七十三號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十三號

目次

○社説

△女子教育と家庭問題　矢島楫子

△是れ實地の問題也　島田三郎君

○宗説

△信仰　福田錠二君

○誠實なきの事業は生命なし　木下尚江君

○人情の精華（ゴダイヴアの物語）　百合子

○家庭欄

△子供の力の標準　田村直臣君

△子供の前にて言語を愼しむべし　江原素六君

○内外通信

本部、大坂、和歌山、堺、弘前、シアトル

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十五錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）	金十錢

明治四十四年十一月廿四日印刷
明治四十四年十一月廿五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ

發行所　婦人新報社
東京市小石川區原町廿三番地

編輯及事務所　小石川區原町二十三番地

No. 173　　November 1911

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

GRATITUDE.

Home needs truly educated women.

This is not ideal but true fact........................Mr. Shimada

Faith .... Rev. Fukudas

Do every thing with Sincerity !....................Mr. Kinoshita

Sacrifice .... Yuriko,

Home Dept.

W. C. T. U. News.

Head quaters, Osaka, Wakayama, Hirosaki, Sakai, Seattle. Shizuoka,

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo,

70 sen per Annum.　Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十三號
（明治四十四年十一月廿五日發行）

社説

女子教育と家庭問題

△新舊思想の反目

矢島楫子

家と云ふ狭い範圍の中に葬られて、全く社會をなす數に入れられなかつた婦人子も、聖代の恩澤によつて茲三十四年間に、兎も角も人格のあるものとして認められましたのは、實に婦人にとりての福音であります、然しまだ／＼婦人と小人との觀念は一般の人からとられて居ませんが、段々と物質上の進歩に供ふて婦人問題も起る樣になりました、近頃あちこちに識者の方々の間に此の婦人問題がやかましくなつて參りまして男女の間には優劣がない、男子の出來る事で女子の出來ないものも多くあるが、また女子の出來るもので男子の決して出來ないものもある如く、人間としては決して相互の間に優劣がないのである、また智識に於てもさうであるから男子と同じく高等の教育を授ける事も出來ると申す方々もあります、また方には之と異いまして世の文明につれて婦女子の虚榮心が高まつてしかたがない、高等の教育を受けると、自から驕慢になつて婦人の優さしいゆかしい特性がだん／＼とけつられて行つて、家庭をなしてもいつも不利の基となつて居ると申して、矢張婦人は弱い柔かいものであるから、餘り文明の香などかゞせずに、家の中に引き込めて置いた方がよいと申す人もありまして、之れは世界のいづれの國に於ても日本と同じ事に、婦人問題につきましては、充分の解決がついて居らないのであります、されば私共は今急に前者に賛成して後者に反對する理には參りませんが、兎も角も、婦人でもいつも進歩發達して、時勢に後れないやうに心懸ける事が大切であらうと思ひます、そこで私は教育を受けた女子が時々家庭の人となつて、圓滿を缺くためしのある事を見

たり聞いたりいたしますが、これはいちがいに嫁の罪てあるとは斷定か出來ないと思ひます新らしいものと舊いものと時々相容れないのは理の當然でありませうこの二ッのものが圓滿に歩を揃へて行くには如何したらばよいでせうか、私は舊き思想を持つて居るもの即ち老人が新らしい思想を養ひ時勢に後れないやうにこの社會と云ふ太きな學校て、一生懸命に勉强をするのにあると思ひます、

△老者は勤めて進歩の道を講ずべし

兎角老人は今時の人のする事を批難いたします、やれ贅澤になつたとか、經濟が下手だとか申して、自分ほど偉いものがないやうに思つて、何ても消極的にいたしたいと思つて居りますが、之は大きい間違てあらうと思ひます、なるほど世の進むにつれまして、婦女子の服裝などがきわだつて美々しくなりました、また四十年五十年と生活難と鬪かつて來た老人から見ますならば、不經濟だと思はれる節も決して尠なくはありますまい、然し女子が敎育を受けた爲めに、虚榮心を挑發されて段々と贅澤になつて來て、これては如何なる事かまた獨身生活を主張したり或は家に入つてやたらに新しきを主張したりして取扱ひ惡くなると思ふのは、少し皮相の考てはないかと思ひます、私は既に八十歳に近いのてすが、どうか、若い人に後れないやうに進みたい、時勢にそむかないやうに思想を養いたいと心がけて居ります、何ても一ッ弊害があるからと云つて直ちにそれては駄目てある、寧ろ差控へて居つたらと思ふやうては、とても今日の文明が見られなかつたと思ひます、然れば少し面白からぬ事があつても、一方てそれ以上善い結果が見られたら、私共は進んて好結果の多い方を取らなければならんと思ひます、故に女子に敎育を授くる點に於きましても、之に高等の敎育を施こす事によつて一二の弊害が起るかも知れませんが、この敎育によりまして社會を益し一家を幸いする事がより以上てあるとしたならば、私共は勿論進んて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盛に女子の教育を叫ばねばなりますまい、而して新舊の衝突を避ける爲めには、前に申しました通りに、老人が若いもの丶缺點を指摘する前に、自分が若いものに後れないやうに勉强する事が大切てあります、然れば從つて若いもの丶考も充分會得する事が出來て凡てを圓滿に解決する事が出來ませう。

△水の使用より得る經濟思想

何ても世の中が萬事贅澤になつて來ましたから生活難の聲も高くなつて來て困つたものてある、之れは何ても社會一般の人が衣食住に於て充分儉約せねばならぬと云ふ人が多う御座いますが、なるほど年増しに人が贅澤になつて來た樣てありますが、さりとて直ちに儉約してそれて凡てが取り歸へされるかと云ふに、私は決して其樣な消極的の事ては駄目てあると思ひます、まづ私は積極的に富を增す事に力をいたしたいと思ひます、それには第一毎日使用せらる丶水の儉約てあると思ひます、昔しからことに日本人は、多量の水を一日に使用する習慣があります、それが爲め今日の如く水道より出づる水も、掘り井の水を使ふ樣に、惜げもなく洗ひものなどに使つて居りますが、この水の量の增減は餘程經濟に關係いたすと思ひます、極く小さい處て考ひて見ましても五人の家族て一人が一升づ丶減じても一日に五升餘るのてあります、一家五升の水が餘ましとしたならこの二百萬の人口を有する東京市全體て莫大の水が有益な處に使はれるのてあります、これは極く淺薄な計算てありますが、綿密に統計を取つたら、定めて多量の水が餘つて從つて之に供ふ費用がはぶけるてありませう、人は消極的に考へる事もよう御座いますが、積極的に考へた方が一層益のある事かと思ひます。

○是れ實地の問題也

島田三郎君

廢娼に就ては人に依つて證據立る事が出來る、事實に依つて證據立てる事が出來る、制度の變化に依つて證

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

據立てる事が出來るのてあります、是等を順を追ふて御話して見やうと思ふのてあります、元來此問題の性質を能く理解せざる人は濫りに是れ空想なり、宗敎家の人の理想てある、議論家の一つの希望てある、斯樣に評して居りまするが、是は此問題の如何なる性質のものてあるかと云ふ事を知ないから、斯の如き輕薄なる評を下すのてありますが、何故に近時此問題の世の中に勢を現はしたかと申しまするると、問はずして遊廓の日本に最も名の知られて居る處の吉原の火災より起つたのてあります、吉原の火災が起つた爲めに是非之を機會として公娼制度に一大打擊を加へやうと云ふ是が矯風會の奮然として此活動を起した處の最近の原因てあります、吉原と云ふものは抑ゝ如何なるものてあるか、謂ゆる法律制度を以て政府が此處に特權を與へてさうして、此處は斯樣なる倫理、道德幷に社會の風敎に逆つた處のものを公許する特別の場處てある、斯う極めたのが即ち此遊廓の設立の基礎てあります。此基礎の思想が誤つて居ると云ふのが我々の議論てあります、或者は斯樣に申します、世の中の進步と云ふものは法律制度の變化に依つて改まるものてはないと我々も矢張りさう思ふて居ります、丁度總ての病は藥を以て驅除する事の出來ないものてある、と是も我々は同意てあります、總て衞生の最も緊要なのは適當なる處の運動を爲して、適當なる處の滋養を取つて、餘計の水を飮み餘計の空氣を呼吸して、さうして生理に適した、生活の道理に適ふた處の活動をして居ものは、病は自然に起らないと云ふのが衞生の最も上乘のものてあります、國を治める事に比べて見まするると謂ゆる血を未だ見ざるに制すると云ふのは是てありまず。戰を以て戰はずして勝つと云ふのが第一の謀の宜いものてあると云ふ事と同じてあります、是と同じて遊廓を碎いて公娼を廢めたと云つて世の風俗の上に於て總ての惡いものを拭い去り得ると、斯樣に我々は信じて斯の如き議論をするのてはない、我々に對する反對者は世の風俗は左樣な處の制度の改革に依らずして更に別の方面から行かなければならぬものてあると云ふ、是

も我々は同意であるといふのは恰も要領の第一は前に申しました條件を備へるにあると云ふ事と同じであります、人の心の根底に立入つて其人が正しき事を好み、正しからざる事を嫌ふと云ふ事になれば、自然家庭の生活を紊し、人々自ら重んずる處の精神を紊り、人々の自立、自主たるべき人類の幸福を紊すと云ふやうなものは自然に去るに相違ないと思ふ、是は最も望ましい事であると云ふものでありますが、併ながら斯様な人に一つの問を出さうと思ふ、然らば此處に病人があつて、傳染病に罹つて苦んで居る時に、之に藥を投ぜずして其儘にして大勢の人が此傳染病に罹つた時に藥で病を去ると云ふのは、最も醫術の拙劣なるものである、それよりも初めより養生をなして病に罹らざる根底の思想を養ふと云ふたならば、何人か之を迂濶なる考なりと云ふものあらんやと私は思ふのであります、故に遊廓――公娼は如何にすべきかと云ふ問題は是れ限りてあつて、其以上の療法は心を引立て清める宗教の力、教育の力、或は倫理の方面より來るべきものである、宗教の方面より來るべきものであつて、他の方法に依つて根底の改革を爲す事を怠るべからずと云ふ事は我々も同意であります。併ながら目前に穢なき處の恐るべき處の、又危險なる處の病が身にあつた時に、此病を捨置き、其の病の根底別に療法ありと云ふ事でありましたならば、社會は傳染病の爲めに人が害を被らなければならぬと私は思ふのであります。

遊廓に對して政治の方面から論じまする と斯様になるのであります。是は實地問題として諸君の前に提供しなければならぬのは此處であります。夫故私は我國に成立つて居る遊廓と云ふものと、世界に現在の文明の缺陷よりして成立つて居る處のものとは大に趣を異にして居る、性質を異にして居ると云ふ事と、其の我國に性質の異つて居る處の遊廓、公娼と云ふもののあるのは如何なる經歴に依つて今日存じて居るかと云ふ事をお話して第一論點を定めなければならぬのであります、我國で云ふ公娼と云ふものは恐らく世界の中に唯日本あるのみと私は結論をするのであります、例へば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三輪田君の唯今御話になりましたる世界の遊び場所であつて隨分風俗の宜しくない所であつて、さうして日本に似寄つたる仕組を持つて居つて、婦人の身體を檢査する所の手續のある國は何所かと云ふと佛蘭西である、我國で唯今の檢査法を施行して居るのは、あれは亡くなられました陸軍々醫總監の松本順君が歐羅巴に行つて佛蘭西の制度を見て來て、舊幕の終りの時代に我國に入れたのを、あの維新の後に施したのが、現在我國に行はれて居る身體檢査法の初めて、佛蘭西の制度を採つて居るのであります、所で英吉利幷に亞米利加の方では檢査法と云ふ事を醫者の方面から折々唱へる事があつた、特に英吉利で稱へる所があつて、英吉利の民間の最も觀念の強い方面から斯の如き檢査法を行ふて僅かに娼妓と名くべき所を――我國の娼妓とは違ひます、(是は後で說明致しますが)、夫等の檢査法の爲めに婦人其者の人格と云ふものを蹂躙すると云ふ事は英吉利の國體として、英吉利の面目として不可なりと云ふ聲が屢々斯の如き醫者の方面から起つて、此檢査法を打倒して終に行ふ事の出來ないやうにした、是は英吉利と佛蘭西との違ひであります、併しながら稍我國と類して居る婦人の身體を檢査する方法を行つて居る佛蘭西でも、我國の如きものではない、寔に明白なる一つの異なる點があります、佛蘭西のは矢張り要するに密娼である、警察官だけが內證で知つて居つて臨時に檢査する時には拒む事は出來ないと云ふ事になつて居る、是が佛蘭西の遣方であります、要するに密娼である、故に社會の方面から見れば法律制度の上には認めて居ないのであります、佛蘭西の道德は極めて低いと云ふ事を云つて居りますが、是は英吉利人其他の國から佛蘭西に向つて言ひ得る權利でありまして、我國の人から佛蘭西に向つて男女間の道德が低いと云ふ事は、如何に我國を愛しても、如何に我國の贔負をしても云ふ事は出來ないのであります、其一つを私は擧げて見やう、有名なる佛蘭西の近時の人望家であつて現在の政體を惹起す時に第一の働のあつたガンベッタと云ふ人がある、大統領の候補にまで指名せられん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とした程の聲譽の高かつた人である、其夫人は身分の賤しい人である、併ながら我國で云ふ藝者の種類ではないであらうと思ひます、兎に角斯の如き大統領になるべき人の身分に副ふべき人ではなかつたのであらうと思ふ、併ながら其人はガンベッタに對して不埒な行ひもなかつた、所がガンベッタが衆議院議長で名望の最も盛んであつた時代に、或る時公に婚姻を認めて貰はふぢやないかと云ふ事を其夫人に相談した所が、夫人は、若しアナタが他日大統領におなりなされた時に、大統領夫人として佛蘭西の國民に臨む事は憚かると云ふ事を云ふたのであります、私は寔に身分の賤しい者で、アナタの出世の妨げになるから私は親切の心からアナタの爲に結婚を公にして貰ひたくないと云ふ事を云つて辭退したのは事實であります、佛蘭西は斯の如き點に於て極めて其觀念が一般の人は低いと云つて居りまするけれども、此婦人は決して我國で云ふ藝妓の種類ではない、唯身分が低いと云ふだけでありますけれども、世の中のあの平等を喜ぶべき自由を喜ぶべき佛蘭西に於ても男女間に於て身分の低い人が大統領夫人として國民に臨む事は名譽ならざる事があつたと見えまして公の夫人たる事の披露を辭したる所を見ても佛蘭西は此點に於て我國の人の想像して居る如きものでないと云ふ一例に備へる事が出來るのであります。(次號に)

宗教

○信仰

福田錠二君

今日は信仰と申す事に就て研究をして見たいと思ひ升此信仰と云ふ題は實際むづかしいのでして、なぜなれば信仰と申す事は說明しありません、信仰とは信じて居る人の信仰如何です私に取りましては自分の信仰のいひあらはしをなす樣で私が如何程信じて居るか否かを御話し致さねばなりません、然し私の信仰如何を話して益になるや否や分りませんが今より御話し申上ませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

う、此信仰と申事は信ずると云ふ事て何を信ずるや、即ち神を信ずる事て或經驗の有人が申せし如く神と共に生活するのてあります、神の上に立つて居る者て有升只今歌ひました讃美の内に岩の上に立つて居ると申のがありました、實に其通りて信仰と申す事は神に依つて生きる者て信仰の生涯を送る人の豪い處は神の上にたち神が有と云ふ事につき少しも疑ひがない人てす私共は此宇宙に神が有か否や疑問てしていつもいろいろ疑がつて居升、其れ故中々〱信仰の生涯を送る事がむづかしいのてす神がある事を少しても疑つて居ますなれば希望の生涯を送る事がむづかしいのてす、信仰のない人は例せば暗室の中に居樣てして私共暗室の中に美しき者が有ましても見えません、けれども針の穴の樣な少さき穴てもあいてをり升、其針の穴からても太陽の光線がはいります時、其者の形が少しても分り升其れがだん〱窓の樣に大きな光を入るゝ處があき升て充分にあかるくなる時其前の美しき色が始めて見えてもはや少しも疑ませんゝ、そこて今迄如何なる者かと疑がつて居ました者も窓が開らいた事によりて疑がはれまして即ち美しいと信仰する樣になり升其れが即信仰て有升樣に私共が如何なる有益な御話しを伺ひましても信ずる心がありませんなれば疑ひの種となります、そうして聞けば、聞くほど心の内に疑が段々深くなつてまゐり升が信仰があれば決してそうてない聞けば聞くほど其恩恵を味ふ事が出來升。

神を信ずる事は教會にて禮拜したりいろ〱の集りに出席するのてはなく神を我が心の裏に宿し神を我者とするのて有升、そこて信仰によりて新らしき世界に入り希望にみちますから疑がなくなるのてす、私共の肉體の父に私共子供がパンを求める時父は決して石を與へません、私共如何に親不幸でも決して父は惡しきのを與へません況して天の父は私共熱心に神を知り度いと思ふて祈る時には私共の心にたしかに神を知り信仰を與へられると私は信じ升神樣は惠を豐かにそなへて人々に與へ樣として御出になり升神の愛は如何に深きか到底はかり知る事の出來なる程の大なめぐみを無

代價で私共求むる者に與へ樣として御出になるのですが私共不信仰の者は其めぐみを受けませんこばみます皆さん考へて御覽なさい世の中のすべての働きは報いが入升決して無代價てはありませんが神のはたらきは報いなしてあり升水の如き空氣の如き太陽の熱など人の力て造る事の出來ません者を與へ下さるのですが皆さん毎々感謝して喜んて受けて御出になりますか、

扨其神の恩を頂く事は無代價て御座いますが、一つ私共に入用な者は其恩惠を頂かれません信じて求むる者に凡て神樣は與へ下さるのてありますから私共に信仰があれば、如何なる大な恩惠ても頂く事が出來るのてす信仰があれば神の惠を充分に頂く事が出來ると思ふ時信仰の有人は實に〳〵幸てあります、何も世の物質は持つて居ません、私共の心はいつも喜びに滿ち感謝に充ち如何に他より其心の滿足を奪ひ取ろうと思ひましても取る事が出來ません其故精神的富んて居る人と申升これと反對に信仰のない人は如何に物質に富んて居りましても平和滿足がなくいつも心配して居升此等の人は實に不幸の人て心の貧しいものて有升信仰の有人はあらゆる逆境に出會ひて悲しむ時にも猶信仰によりて喜びをなして居升其れは如何なる理由てせうか即ち信仰が有ますからいつも神の懷の内に有りまして神の御愛に感じめぐみに感じて喜び感謝して居るのて有升。

其れは信仰のない人には到底出來ませんが如何に此世の中に幸福に暮して居る方ても其樂しい嬉しい時は暫らく、思はぬ不幸な境遇になる事が有升其時信仰のない人は如何に失望落膽するてせうか、然し信仰の有人は私共は此世の中に何をも携へて參りません裸て生れまして其故如何なる、富も名譽も死す時は携へて往く事が出來ません又元の如く裸て歸る者てすと思ひまして少しも失望しません逆境の内に恩惠を感じて居升其故希望滿足が有升。

次に信仰のある人は不足がありませんが世の中の人は不足勝て有りましていくら與へられても、又進步しても滿足がなく不足に思ふ人が少なくありませんが信

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

仰のある人は何も持ちませんが如何なる境遇にも滿足が有まして私は凡てに於て足れり神のめぐみが澤山私の上にあります故如何なる時てもこれて足れりと云ふ事を學んて感謝して居升が、信仰のない人は我身の境遇を悲觀的に考へ自分以上不幸の者がないと云ふように思ひまして、つぶやき升、兩者を比較して皆さん如何に御感じになり升か。

又は信仰の有人は失望がありません世の中には此人こそと思つて信じて居ました人ても或塲合に信じられぬ事が有升、私共は誤解されたり、惡しく云はれたりする事が度々有ります其故心を安んじて中々居られません又子供ても親は此子供を將來有益な人としたいと望みますが望み通りには中々まゐりませんて失望する事もありますが神を信じた私共には失望がありません間違がありません事は誰方ても經驗なさる事てせう。

どうも世の中の事には變化がありますが神を信じました私共は實に幸福て有升と思ひいつも感謝して居る事の出來る其心はたしかに神が有と云保證となり升皆さんの內眞に神を信じて失望せし人が何處にありますか御聞になつた事が有升かそれから信仰と申事は只今まて神を信じました結果幸福になりましたと御話申しましたが今から神と一つになると申事を少し說明致しませう信仰とは、神と一つに成ると云ふ事を實驗せねばなりません其れには私共の模範として居り升イエスキリストて有升イエスは神の子として神の懐にありました、イエスは神を別の者の樣に思ふて御出になりませんてした我を見し者は神を見しなりとか又此敎は我が敎に非ず我を遣はしゝ神の敎にて神と我とは一つなりと仰せられし如く私共も信仰を其處まて持たねばなりません。

信仰の有人は幸て有ます、ない人は實にわざはいて有ます、何故なれば、信仰のある人は死しても猶よい感化を與へ幾年經ても亡びたり又なくなりません其人の行は猶物言ふ如く私共によき感化を殘してをりますが信仰のない人は一時は富み榮えても其れは束の間の事てす又信仰を起して其生涯に入り途中に於て信仰

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を止める人がありますが此人は始めから信仰しない人より猶不幸て有升丁度エスの十二弟子の一人ユダの様に又アナニアとサッピラの様に途中に信仰をかへるなれば神を僞る事て恐しき罪てあります。

其故私共はかぶとをぬぎて神と一つになりまして神をよろこばせ清き心をもつてよい行爲をしたいと思ひます然し如何によい行爲ても神の前にはしみが澤山ある事てすからそこて信仰なくば神を喜ばす事が出來ないと聖書にかいて有升が實に私共持べき者は信仰てあります何卒皆さん此點についてよく御考へ下さる事を御勸め致します（十一月六日講演概畧）

○誠實なきの事業には生命なし

△廢娼運動の沿革

木下尚江君

茲に私は明治の日本に於て娼妓制度といふものゝ上に第一に政治上の問題として又法律上の問題として娼妓制度の上に二回の打撃のあつたことを記憶して居ります、廢娼運動も既に久しいものてあります吾輩が初て廢娼論を耳にした以來隨分久しくなつて居る併ながら今私は政治上より致しまして此娼妓制度の上にどういふ打撃を受けたことがあるかといふことを考へて見るに二つのことを記憶する其第一回は明治五年に娼妓解放令の出たことてあります第二は確か明治三十三年てあると記憶するが諸君の記憶に新たなるところの娼妓の自由廢業といふものが内務省令て出たことてある此二つてあります此二つを少しく批評することは必しも無益のことてない明治五年の娼妓解放令は如何なる事情に依つて出て來たか其事實を見るに、此時は吾輩生れては居たけれどもまだ幼少のときてありましたからその事を見はしない、後に文書に依つて知つたのである、之は其時にペリウの軍艦が支那の奴隷を乘せて横濱に來た其奴隷が海に飛込んでさうして陸に泳ぎ著いて救ひを求めた是に於て此奴隷問題が日本の政府に起つた其頃の明治の政治家は若かつた明治維新をやつて來て英氣が盛なときてありましたから何ても遠慮會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

釋なく新らしいことをやる其時の外務大臣が副島種臣といふ人て司法大臣が江藤新平、皆理屈家てあつて若かつた、それて生意氣に——生意氣と云つては惡いが生噛りの國際法論などを持出して奴隷解放を唱へて大に强硬な議論を日本政府が主張した、それに付いて一つの仲裁々判が開かれることになつた其時にペリウて抗議を持出した日本は奴隷問題に喙を容れる權能が無い、なぜかなれば日本にも奴隷が現にある其奴隷は即ち女郎といふものてある、あれは明白に人身賣買て奴隷てある己れの國に奴隷を置きながら他國の奴隷に喙を容れる權能は無いと、言はれて日本政府も吃驚したのてあります、成程さうだ、そこて今の政府の人ならば其勇氣はないけれども其頃の若い書生肌の人々てありますから直ぐに娼妓解放令を出してしまつた、江藤新平は首を斬られる人てありましたけれども物を斬ることもなか〳〵速かてあつた（拍手喝采）全國の女郎を皆解放して人身賣買を禁止したのてありせす、そこて此事件を見ますと之は内から出たところの聲てはなかつた、問題は法律問題てある、さうして外國に依つて日本の文明が疑はれた之に對するところの一の反動てあつた日本人の心から出たところの之は聲といふことは出來ない、故に御覧なさい此娼妓解放がどういふ結果になつたか、娼妓は解放された併ながら直に又收容されたさうして依然として元の女郎屋が出來て居る唯法律問題てあつたのだから法律上の名儀が變つて來たのてあります故に今度女郎屋を貸座敷といふ名にした、座敷を貸すのてある、さうして其處て女郎は出稼をするのてある、元は此身體を女郎屋が買占めて女郎の身體は女郎屋の身體てあつたけれども、今度は自由契約てある、法律上から云へば自由契約て女郎屋に出稼をするのてあるといふのです、貸座敷といふ看板を掲げて依然として元の女郎屋が存在した、之は法律問題、形式問題てあります、第二に自由廢業、此事になります吾輩も餘程直接に類したところの關係を持つて居る、前申すやうな工合に此東京て吾輩等は廢娼運動を始めた、さうしますと或夕方私か新聞社に居りま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すと名古屋の牧師連が四五人打揃うて私を訪ねて來た、會つて見ると其人々が一の問題を提供された、一つやつて貰はなければならぬ事があるといふのて今名古屋に一箇の訴訟問題が起つた、其問題に付いて吾々出て來たのてす、政府の方へも運動をするために出て來たのてあるけれども是非輿論に訴へ社會公の問題にして貰ひたいから是非君に頼む、斯ういふ事てある、それを聞いて見ると即ち娼妓の自由の保障といふことの問題て之が今も名古屋に再び來て居られますが？教會の宣教師のモルスといふ人が居りまして此人が一の問題を提供した日本帝國の法律は女郎の身體を保障して居るや否やといふ問題を此人が提供したのてあります日本人は皆女郎の身體は金て買はれて居る者といふ風に考へて居る、果してさうか、日本帝國の法律は娼妓の身體の自由を保障して居るや否やそこて、之を裁判に持出して日本帝國の法律を試驗するといふ事が起つたのてあります、試驗するにはどうしても女郎を藉らなければならぬ女郎が訴訟を起さなければならぬ、いろ〳〵苦心をして或一人の娼妓が廢業するに付いて樓主の承諾を求める訴訟を名古屋の裁判所に起した、此問題を以て吾輩を此數人の牧師が訪問されたのてありました、それを聞いたときに吾輩は殆ど開いた口へ牡丹餅の感を起した私は實に其時日本の法律は決して娼妓の身體を束縛して居らぬといふことを論じて居つたのてあります今其實際問題が起つて來たのてありますから吾輩は殆ど欣喜雀躍して、さうして毎日々々此事を論じたのてす、さうして或日一人の小さな娘が新聞社へ來た、それは吉原から來たのてあります所謂豆どんなるものてある（笑）まだ女郎になる年てはないけれども年が長ずればなるのてあるそれが來たのてある、そこて私は是れ實に屈竟なる材料てあるといふのて直にそれを引受けましてさうして其事を新聞にも書き大に之を皷吹した、そこて或る同業の新聞が其時に毎日新聞を嘲つて毎日新聞は豆どんの飛込んて來たのを恰も天上からお姫樣ても落ちて來たやうな騷ぎをして居る、ところが吾輩は天上からお姫樣どころの騷ぎては

ない天人が落ちたやうな思ひをして之を天下に絶叫したのであります、斯ういふ折に名古屋に裁判が起つた東京に於ては兎に角十二三の娘であるけれども一箇の問題として多少の人心を刺激したのです、斯ういふ風になつて來ると隨分火が付き易くなつて來るもので其中に二六新聞の血氣壯んな人が綾衣といふ娼妓を一人伴れ出して自由廢業をさせたり救世軍の諸君が太鼓を敲いて吉原に進撃して自由廢業を皷吹するといふことが盛に起つたのであります斯ういふ風になつて來ましたから政府でも捨置くことが出來ずして彼の內務省が自由廢業の省令を出した即ち借金は借金である借金のために人身を拘束することが出來ない、借金があつても娼妓は廢業をしやうといふときに自由に廢業が出來るといふ省令を出した今此問題を顧みて批評して見ると是も純然たる法律問題であります、さうして此問題を政府が是認した、政府が是認したのは何の力であつたか若し吾輩をして自分を廣告することに專らなることを十年以前の如くならしむるならば吾輩の筆の力であると吾輩は言ふ（拍手喝采）二六新聞はそれは二六新聞の筆の力である、救世軍の諸君はそれは救世軍の力であると云ふかも知れないけれども、是れ皆非なり日本政府は日本人の聲に驚いて法律を出したりするのでない若も宣教師が此問題を出したのでないならば、宣教師の後に本國亞米利加といふ國がないならば、若し救世軍といふ後に英國といふものがないならば決して日本政府が自由廢業を是認しなかつたのであります（拍手喝采）けれども兎にも角にも此自由廢業が是認された此時に此自由廢業が出來といふ一點に依つて遊廓制度は瓦解すると吾輩は信じた、もう再び金を出して女郎を抱える者はありはしない、何時でも廢業が出來る、もう法律問題で日本の娼妓制度といふものは破壞し得たりと吾輩心の中に私かに微笑んだ、けれども是れ空想であつて少しも驚かない娼妓制度は依然として存在して益々榮えて居ります。

△我等は我等の中にある神の

心を發揮すべし

吾輩は自己の爲し來つたことを考へると、如何にも物が上ッ面てあつたことを思ふ、御覽なさい日本の此風教の頽廢を、遊廓が益々繁昌する而して賣淫は益々繁昌して風紀は益々紊れて行く、殆ども箸にも棒にもかゝらぬてはないか、どうするのです、何處から手を著けるのです、盛に教育の必要を說き道德の必要を說かれるけれども、說かれるところの教育、說かれるところの道德が行はれなければ、教育でもなければ道德でもない、道德の聲は盛んだけれども道德てはないてす、今日本に說れて居るところの道德といふものは道德てなくして矢張法律てあります斯うせよア、せよ、之は道德てない法律てある（拍手喝采）頭を下けなければ不敬になる或はそれが不孝になる、それは道德てはない法律てあります、道德は內發的のものてなければならぬ（拍手喝采）吾輩は此もう殆ど鬼がヘドを吐いたやうな紊れたる日本の社會を（拍手大笑）救ふところの唯一の光は內より出るところの力に頼る外はない內から出るところの光に便るの外は無い、人皆神の心を持つて居る佛教の言葉を藉りて云へば人皆佛性佛心を具へて居る、皆此具備して居るところの此神の心、佛の心に便るの外はありはしない、さう致しまして日本の此國民教育、國民道德といふものは神の心佛の心を抑へ敬うて居るところのものであります、（拍手喝采）此の如くにして何程の倫理の教科書が出やうとも何程の訓令が出やうとも口を酸くして道德を說かうとも此佛の心神の心を抑へて何んにする、青年の煩悶も實に是にある、一切人類の煩悶は自ら出なければならぬ、佛の心、神の心を人間の傲慢なる心を以て抑へて居るのであります。

○人情の精華

ゴダイヴアーの物語

百合子

思ひは一千年の昔の事である、ゴダイヴアとてさる侯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悪な伯爵の夫人がありました、良人に似ぬやさしき心の婦人て、使はるゝものも、城下に住ひする小作人等も崇め愛して居りました、ある年のことこの慾深な伯爵は、その小作人等に過酷な租税を取りたてようと布令を出しました、貧しい百姓等の如何てこの無慈悲な布令に従ふ事が出來ませう、百姓のおかみさんたちは子供等をつれて伯爵のもとに嘆願に參りました、若しお仰の通りの租税を收めれば、私共は皆飢え死をする外いたし方が御座いませんからと話す言葉も涙てありました、心やさしき夫人の何して默して居られませう、大廣間へ伯爵が數多の畜犬に戯れて居るのを見て早速不憫の百姓等の税を減じて被下るやうにと願いました、伯爵彼等は重き税に堪え得ず唯だ涙にくれて居ると言葉を盡して頼みましたが、尺なす白髪は肩を埋め、膝に垂るゝ鬚髯を撫して伯爵はあざけりの笑を洩し、除に（マヽ貴女の小さい指の一ッをも百姓輩の如きもの、為に痛めなさるな）と申しました夫人は（若し私の願が聞かれなければ死を以て償いませう）と申されました、伯爵は笑て夫人の耳に耳打ちしました（なんて御座いませう私の出來ません事とは）と夫人は折返して聞きました、獸物にも増して荒々しい伯爵は（御身若し内中を裸體にて乗り廻せば御身の願を聞きませう）と惡々しげに答へ獨りうなづきつゝまた犬の方へと行き去りました、獨り殘された夫人の心の中は如何てせうとつおいつ百姓を救はんか、女の恥を免れんかと一時ほど悶だいて居りましたが、惻隱の心止めがたくて遂に伯爵の要めのまゝをいたして百姓等を救はんと決心いたしまして、人を市中に遣はして、伯爵との問答のまゝを告げ、且つ皆が自分を愛してくれるならば、今から正午まて、雨戸を閉ち窓をしめて、誰一人も自分の姿を見てくれないやうにと布令させました、それから彼女は直ぐに自分の居間へとしりぞきまして、慾深き伯爵が結納にと贈った獄のピシャウの附ける帯をときました流石に恥かしくて躊躇ふ風情は、宛然夏の月の半ば雲間に隠ろひて居るやうてありました頭髪を膝の上まて垂らして、彼の女は盗むがやうに階段を降り

まして廊下傳へに電光の閃めくやうに急ぎ〳〵て漸く玄關まで辿つて參りました、門邊には燦然と輝く黄金の馬具いかめしき駿馬は主人を待顔に早や裝われて居りました、彼女は其に跨がりやをら馬に鞭ちました、風の揺も、野犬の吠に顔赧らめながら馬のあがきに胸は躍りながらも盲いたる市中を走りに走つて再びゴシック式のアッチの中に彼女は歸つて參りました、唯だ獨り恩忘らずのたけ者が、彼女の姿見んとて壁の穴から臨きました、瞬間眼は盲して一生見る事が出來なくなつたと云ふとてあります、神樣はいつも高尚なる行爲に對し多大の恵を與へられます、彼女の歸ると間もなく十二時の鐘は彼方此處に鳴りひゞきました、彼女は再び裝ふて伯爵の前に參り、課税の免除を求めて幾百の百姓の命を助けて其名を千載に殘しました。

家庭欄

○子供の力の標準　田村直臣君

田村直臣先生が此程子供の權利と云ふ本をお著しになりました、其中にある子供の力相應と云ふ章は特別に世の父母の知る可き點てありますから此に拔萃いたしました。

學校に子供を遣る親等の頭を痛める事柄は、學校に於ける自分等の子供の成績はよくない爲め學期の終りが來るかと落第したり、又落第はしなくとも辛うじて及第する位にて、如何にも學力の能くないのを見て、非常に落膽し失望する事てあります。今日日本の學校制度によると組の上席を占めんとするには多方面に學才のある者てなくては到底上席に座する事は出來ないのてあります。

例へば算術に滿點を取つても若し畫を能く描く事が出來ないならば、其の點が非常に低くなりますから、從つて凡べての點が減じます。故にとても優等生の資格を持つ事が出來ないのてあります。子供が學校を終へ、世に出て偉い者になると云ふ標準を單に學校の平均點に依つて判斷するのは大なる間違てあります。親等の無暗と子供に對して學校の上席を望み、若し上席

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に登る事が出來ない時は子供に對して、愚鈍てあるとか、馬鹿てあるとか云ふのは實に怪しからん事てあります。

子供が學問の餘り出來ないに三つの明白な理由があるのであります。

第一は生れながら愚にして學問するだけの才を有して居らないのてあります。親は子供の才智才能の力を知らず、他人の子供は皆學校に行つて學問が出來るから、自分の子供も必ず出來る者と思ひ、無理に學校の好きてない子供を叱りつけて學校に送る事は實に子供の權利を害して居るのてあります。學問の才のない子供は又他の方面に天才を有して居るのでありますから、親は決して失望する事なく、親切に其の子供の才智才能のある方面を調べ、其の子供に適當なる職業に從事させる事は親の大切なる務てあります。

第二は中學一二年生の時に非常に能く出來た青年が中學の三四年になると學力が進まず、遂に落第する様な事が度々あります、親等は斯くの如き子供に對して非常に失望し、其の子供を優等生にせんと思ひ夏の休みにも休ませず、又夜も遲く又朝は早く起して、非常に嚴重な監督の下に其の子親に勉強さする供等が澤山ありますが、親の能く心得て居らなくてはならぬ事は何の原因に依つて左迄出來た子供が、出來なくなつたのであるかをよく調べなくてはいけません。惡青年と交つて怠者になつたのであるか、又は身體に何か異狀があつて身體の惡い爲めに精神を鈍くしたのてはないか、其原因を探す事が大切てあります。身體の爲めに精神に感化を起す事は非常なものてあります。若し身體の上から學力に變化が來たのてあるなれば、親か子供を叱り飛すより、醫者に携れて行く事が必要てあります。

第三は學校て上席を占むる事の出來ないのは或子供は或學科が嫌やてあるからてあります。換言すれば其の子供は其の學科に興味がないからてあります。子供と云ふ者は興味のないものには熱心になる事が出來ないのてあります。故に親等は此の子供は如何なる物に

興味があるか非常に氣を付けて居らなくてはなりません。

歐米に於ける大人物の傳記を讀んで見ますと、學校にて余り成績が善くない者が大學校を出て後、大なる人物になつて居るのてあります、例へばチアーレスダアウインは子供の時は決して秀才の名はなかつたのてあります。親より『お前は鳥を取る事か鼠を取る事より他に何も出來ない』と云はれて居つたのてあります。オポレオンは學校にて算術の外何んにもてきず、組の四十二番て辛うじて卒業したのてあります。ヘンリー、ピイチャー、は十才の時は字も碌に書く事が出來ず、又口が非常に重く、話す事は出來ず、人から愚鈍な子供と云はれたのてあります。グラッドストンはエトンの學校に居た時は世界の大政治家になるべき技倆を少しも示さなかつたのてあります。

然しダアウインは大學者となり、ナポレオンは大軍人となり、ピイチャーは大說敎者となり、又グラッドストンは大政治家となつたのてありませんか。子供の力を單に學校の成績を標準として、判斷するのは大なる間違いてあります。

今日の學校の制度は確かに子供の權利を蹂躙して居る處があるのであります。學校にて成績が惡いからと云ふて其の子供が大人物となつて名を後世に殘さないとも限ません。餘り學校の成績にのみ心をとられ却つて其の子供が如何なる偉大なる人物になるべき貴き才能を有して居るかを注意しなくてはいけません。

子供の天才を見ると云ふ事が親の大なる役目てあります。子供の天才を見るの目のない親は子供の生涯を誤らすのみならず社會に非常な損害を來すのてあります。子供は必ず子供の時に自分の天才を現はして居るのてあります。

ダアウインが鼠ばかり捕えて居つた事は自分の天才を示して居るのてあります。ウォタルスコットが子供の時喧嘩好きで又話をする事が非常に下手てあつた事は自分の生涯の役目を示して居つたのてあります。

モザアトやベトオベンの如き大音樂者は三四才の時に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

既に大音樂者になるべき音樂の天才を示したのてあります。天才ばかりあつて、充分の修業をせなくては何ても偉い者になる事は出來ぬ事は云ふ迄もありませんが、然し偉い者になる要素の重なる者は確かに天才てある事は與論と云ふてもよいのてあります、親等は此の子供、天才を發見する事に充分の注意を拂はなくてはなりません。

○子供の前にて言を謹しむ事

江原素六君

能く世間の母親を見ると、子供の前で色々な言を申して居ります、傍て聞いてはら／＼する事は決して尠なくはないのてあります、子供と云ふものは大人の云ふ事する事、殊に母親のなす事云ふ事には、余程重きを置いて眞似をするものてすから、母親は一言話すのても、余程氣を付けませんと大變な事になります、いつぞや私の知人て病氣て入院して居る者を見舞に參つた事があります、丁度其人の妻君も六才ばかりの娘の子も居合せました、私は暫く話しゝした後ち歸りかけましたら、其妻君と子供が玄關まて送つて來られました私は病人の付添看護婦も一緒てしたから、色々と親切に看護して吳れるとを褒めながら玄關に來ましたら、一緒に參りましたその六才ばかりの子供が、伯父ちやんあのねー、看護婦さんはねーお金さい頂けばいつもい丶顏をして働くから、まあ時々お金をやるんてすと母さんが先達て伯母さんとそう云つて居たの、いやな看護婦ねーと、子供てすから平氣ておしやべりして居りました、私は看護婦に氣の毒て堪まらなかつた、また妻君も顏を赤くしてどうかして口止めたいと思つて居る樣子てしたが、小兒は一向平氣なものてした、私はつく／＼思ひました、實に母親が子供の前て不注意に物を云ふから、斯樣な事になるのだ、これは是非愼んて貰らいたいと思ひました、事柄は極く小さな事てすが、世の中にはいくらもあるためして、また之れが實に惡い感化を子供に當へる者てあるとつく／＼思ひました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内外通信

○本部

△本部常置委員會　十月十一日午後三時より上二番町女子學院に於て常置委員會を開く、出席者、矢島、小崎、井深、根本、大關、戸川、ミス、スペンサー、ミスパン、島田、フハインド、守屋、杉本、山東の諸氏、會頭司會のもとに祈禱、前回記錄朗讀の後ち議せし件

一愛憐社の主任白井氏辭せられしを以て三浦てい子姉を後任となす事

一通信書記戸川姉（前横倉）の辭職は止むを得ざる事として之を受納るゝ事

一書記の後任者として高原から子を招聘し同氏事務に馴るゝ迄は個人として、戸川姉援助せらるゝ事、

會頭より茶果のもてなしあり午後六時閉會す、

十一月十五日午後三時二十分より女子學院に於て常置委員會を開く出席者、矢島、井深、小崎、本多、守屋ミス、パンフハイン、阿部、杉本、高原の諸姉、會頭司會の許に祈禱を捧げ前回記錄朗讀後左の件を議す。刑法并に在外賣淫婦取締に關する

一請願書は例年の通りにして差出すこと。

一愛憐社名義變更の件はミスパンフハインと相談の上に決すること

一婦人新報保證金に就ては止を得ざれば事務所建築の基本金を以て之に充つべきも來年四月迄には間もあれば次回の委員會にも尙協議すべき事

一婦人新報發行人は矢島先生、編輯人は高原からとなし發行所は上二番町三十三番地となす事

一前書記より事務の引つぎは本年十二月中になすべき事

○大阪

會頭の厚意になれる晩餐の饗應あり午後六時閉會す。

九月十八日午後二時ホームに於て故緒方八千代理事の補缺撰擧のため臨時會を開く

出席理事　理事長外十三名の內拾名
推薦投票緒方千重子滿點を以て任撰せらる。

會　報

九月十八日朝增田にん子永眠せられ翌十九日午前九時約翰敎會堂において葬式執行せらる、姉は孤獨にして信仰堅く特に忠實なる矯風會員なりき年六十曩に梅田ふみ姉に續き緒方八千代姉今亦同姉の永眠を同じ敎會員に出せし事返す〴〵も遺憾此上なく追悼の情に堪えず。

ホーム主任林依子一週間前より病氣川口パルナバ病院へ入院療養中目下快方に向ひつゝあるは主の惠みと感謝す。

第六回婦人ホームの友やぶ入會

九月廿八日午前十時より川口六番ミスプール氏宅に於て開かる、出席者凡八十名比較的例年に勝る進步を喜ぶ只平日遺憾なりしは多くの娘だちが第二の母たる思ひして樂み來りし林主任が病氣にて而かも隣の病院に居られるに面會謝絶なりしは互に心つらくありしが皆元氣を付て不日全快を神にいのりつゝ來春を約して歸る。

大坂每日新聞記事參照

大會後新入會員

眞鍋ちゑ子	藤野つゆ子	中野かつ子	保阪ひろ子
辻　よね子	板村ちか子	海老名元子	小山みつ子
片山やゑ子	松本みね子	和田やす子	久保田とし
吉田とき子	佐々あい子	菊地とすゑ	〆十五人

●感心な女中

婦人ホームの藪入會

市內中之嶋六丁目の婦人ホームでは既記の如く廿八日午前十時から川口町ミス、プール宅に於てホームで周旋した、女中の秋季藪入會を開催した女中達は一年二回の此藪入を何よりも樂しみにして嬉色滿面いそ〴〵として入つて來るのを林會長、小山、奧田の兩女史などが交る〴〵「マア無事でお暇を頂いて遊びに來ておくれか」と恰から生みの娘が歸つたやうに迎てやる、かくて會長林歌子女史の有益なる敎訓談に次では淸鏡水、桜內兩夫人の女中のために熱心な祈禱あり、それより一年以上の勤者に褒美を授與したが三年勤續の大塚惟明氏方の女中山本きぬゑの(廿二)の如は餘りに奉公氣を離れて立ち働くので常に夫人が「きぬゑの嫁入後は何うしたらよからう」と惜まれて居るほど家中の事を萬事任せられてる又先程逝去した佐立工學士方の加藤なみ(十九)は七ケ月の長き氏の病中洗濯より仕立物に至るまで遺憾なく之を始末したので「こんなよい女中を歸すのは惜しい」とて令孃の嫁いだ東京の緣家先へ重々遣はしだ程

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だ、猶其他にも忠勤の女中は多い、中にも堂嶋の林晋吉氏の子守井上あや（十三）は姉と共に昨年暮にホームを頼つて來たものだが郷里には病身の親と發狂の兄とのみなので毎月の給料は廿五錢づつ殘した外は皆生活の補助にとて親許に送金するので唯もく憐れに思はぬ者が無く今回も雇主の林氏より「褒めてやつて下さい」と態々申越したので特に模範女中として人々に紹介せられた。

○和歌山

去る六月良會長瀧本夫人の熊本に轉ぜられし以來は會員一同さながら慈母を失ひし如く更らに活氣なく七月に公會演說會を開くべく會則に定めあれども遂に開催に至らずして打過ぎぬ十月七日午後二時より久々にて母の會を催す會場は例により十二番丁聖公會々館にて吉村姉司會の下に左の通り有益なる講話ありき。

一、幼兒哺育上智育の關係に就て　鎌田　三郎君

一、兒童の德育に就て　吉村大次郎君

鎌田氏は小兒科專門の國手にて話題につき醫學上より懇々と講演を試みられぬ

當日出席者僅か廿四名なりしは遺憾なりき

○弘前

七月二十一日午後二時より元寺町會堂に於て例會を開く會長司會にて讃美聖書朗讀助川あい子姉の祈禱の後再び讃美を唱へ書記に代りて引田りよ子姉前回の記錄朗讀をなし、新内岩太郎氏精進といふ題にて講話せらる大要は昔し熊澤蕃山近江聖人に道を學ばんとて三日三夜軒下に立ちしと又アブラハムは神の命により愛子イサクを獻けんとせし例を引き各自其正義とみとむる主義の爲には如何なる困難事情をも恐れず奮鬪するの必要を話さる一同大に益せれたり、終りに飯島たま子姉の厚意になれる茶菓を喫し、隨意の懇談に移り愉快に散會せしは午後四時なりき當日は風雨の爲來會者少數なりき。

○堺市

去る十月十七日第三火曜日午後二時浸禮教會に於て萬代要子姉司會の許に祈禱會を開く祈禱に先きだちてメソヂスト教會牧師白石氏の有益なる奬勵ありその大要

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は我等信者は何處に在るも又何事をなすにも絶へず祈りの精神を失ふ可からざること殊に來る十一月に開かる可き公會演說會の爲には矯風會員一同心を合せて神に求め祈らざる可らざること其他たゆみなき熱心なる祈に神の答へ給ひし實例を引きていと懇に且つ熱心へ敎へられたりこの日會するもの僅に十人に足らざりしも活氣ある會にて一同非常に力付けられ各々心を合せて熱心なる祈をさゝげ、なほ來る十一月の公會演說會の爲に毎日正午十二時の號砲を合圖に特に祈をなすことを約して散會したり

○シヤトル

明治四十四年八月十六日午後三時本年度の總會併びに衣笠、右手兩姉の送迎會を兼ねて例會を開く會頭ミスファイフ司會の元に例の如く讃美、聖書朗讀、祈禱あり書記會計の報告終りて直ちに議事に移る。

役員改撰

會頭　ミス、ファイフ

副會頭　高橋竹千代

會計　大野ヤス子

書記　久布白落實

衣笠姉歸朝の爲め久布日後任に擧げらる、他は皆從前の通り。

議事終りて送迎會に移る、岡崎夫人及び久布日の送別の辭吉岡夫人の歡迎の辭あり、衣笠右手兩姉答辭を述べられ茶菓を喫して主客歡を盡す、來會者約卅名、同日會頭より兩姉へ手製の花束を贈る。

九月十三日水曜日午後三時、組合敎會堂に於て例會を開く、當日は北米時事對喜望誌上に論爭ありし兒童と宗敎とを題として演舌懇談會を爲す特に岡崎牧師に司會を乞ひ久布日牧師演舌ついて大林宗嗣氏岡崎牧師等の右に對する意見ありいづれも宗敎は兒童敎育に必要にして缺く可らざると、又基督敎は凡べての宗敎に冠たるものものにして國民道德を完成するのみならず更らに進んで世界道德の基礎たることを述べらる、茶菓の饗應ありて懇談に移る、當日の來會者各敎役者諸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氏、新聞雜誌記者國語學校教師會員大人小兒合して四十有餘名會後新刊婦人誌『家庭』の主筆川尻氏の乞ひにより一同撮影す、新入會者四名唐松スミ子兒玉しづ子伊藤ふさ子、右手きよ子。

各課の研究

○遺傳課

一衛生課の働と相俟つて發展すべきものなり
二遺傳に關する法律を研究する事特に飲酒の子孫に及ぼす影響幷に之が統計を保存せらるべき事
三如何にせば遺傳の弊害物に打ち勝つべきか
四醫師專門家看護婦等を招待して集會を開く事
五此課に關する懸賞文章を撰く求めらるゝ事
六嚴密なる意見を新聞雜誌等に掲載して家庭の感化善良なる子兒の兩親となるには以何に心掛くべきか遺傳と教育との關係等を社會に擴く知らしむべき事
其他萬國日曜學校課中にある禁酒の課程の時には、生徒に以何に敎ゆべきか、之れ同課長の盡力と研究を要すべきものなり。
禁酒課の時には、各教會の說教者に禁酒演說を依賴して、心に銘ずる迄大人小兒に飲酒の害を說かれたし、且つ日曜學校にては少年少女に禁酒の誓約を求めらるし。
禁酒煙主義にちなめる聖句繪等を記したる美はしきカードを汎く分配せられたし。
吾等が勝利を博すべき大なる戰場は少年の團體なり

○交際課

矯風會團體の社交的生涯は尤も必要として尤も興味ある課なり。
一課長は常に此團體に於て紀念すべき日を記憶して之を守る事即ち
故ウキラード孃誕生日（九月廿八日）平和の日（十二月第三日曜日）少年禁酒軍日（アナ、ゴードン孃の誕生日を紀念して七月二十一日）ジエチーカセテー女史の誕生日（六月九日所謂花の日）母の會日（一月三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日母ウヰリアードの誕生日）

二清潔なる交際會を開きて世の紳士を招待して意見を聴取せらるゝ事

三社交問題を研究討論せらるゝ事

四交際會に於て會員を募集せらるゝ事

五數々遊山等の催をなす事

六特に諸學校の教師方を招待して社交中禁酒主義を鼓吹せらるゝ事等なり

○母之會課

此課の課長は尤も便利なる位置に居られ從つて活動の方面も廣く世の主婦なる人々に禁酒禁煙主義を傳へ得れば既に成功の半に達したるものなり

一課長は參考として紹介せらるべき書物は左の如し

一婦人の天職、實地看護法、常磐料理帖、不良少年感化法、美はしき敵、金絲、話の栞、テデーのリボン、右は京橋區銀座通り警醒社にあり

二母の集會を開きて互に兒童の精神的教育、青年男女の陷穽、女子の危險、如何して、道德の觀念を強うせしむべきか、酒煙草の小兒に及ぼす害、兒童の明晳等につき討論せらるゝ事

三時々親睦會を開き多くの母人を招待して日頃の勞を犒ふ事

四質問箱を設けて互に質問討議せず會員の一致を計る事を得。

○安息日課

課長は日曜日は眞に安息の日なる事を社會一般に知らしめざる可からず

一キリスト教徒は教會に行き聖書を讀み祈を捧ぐべき事を尚ほ一層盛にいたすべき樣すゝめらるゝ事

二集會を開き先づ生理上より安息の必要を說き幷に社會の經濟上より生存の意義を解くべき事

三名士を招聘して大演說會を開きまたは公官立學校に於て演說し之によりて日曜日に於ける運動會等の擧行を廢する事等なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○傳道課

吾等の團體は明かにキリスト教徒によりて成立し居るものなれば此課の働は特に他に勝りて優れたるものなり吾等の働の有終の目的は人の魂を救ふにあり

一各教徒に一層精神的方面に發達せられん事をすゝむる事
二會集中にて聖書を讀み祈禱を捧げ肉體に於ける如く魂をも養はざる可からず
三信仰の道にすゝむべし
四聖書研究目的を以て集會を開く事
五矯風會の進步の爲め特に祈禱會を催す事
六信仰的生涯の發展は此課の負ふ處大なり然れば諸姉の充分なる活動を要す
七聖靈の働聖別の必要、信徒の特權等につき研究せらるべき事
八正午の祈禱を奬勵せらるゝ事
九親しき男女信徒をしてキリストの爲め云ふすべき責任目前に橫はる事を知らしむべき事
九市村邑の獄舍貧民窟等に集會を開きて彼等哀れむべき人々に慰藉を與ふべし惜しみなく施すものには惜みなく與へらるべし

○動物優待課

博愛惻隱の情を養ふは尤も必要なる事として動物を優待しひいては互に相愛するの念を發揮せしむるは此課の働なり

1 小兒の間に此課を設け面白く且つは參考になるべき書物を讀ましむる事
2 小兒動物の保護に關し如何なる法律が設けあるやまたそれが勵行されつゝあるやを研究すべし
3 動物虐待に對して輿論を起し或は新紙上に寄稿して優待の方を講じ其他機に臨み變に應じて之か善後策を講ずべし
4 說教者に乞ひて數々此の問題にて說教を要求すべし
5 此課に關する印刷物等を博く母なる人に送り兒童の

6 教育上の參考に備ふべし
6 此の課に關する完全なる法律の規定幷に之が勵行を促す事に盡力しまた有力なる人々の意見も求むべし

○花之課

此の課の働きほど床しく樂しきものはなし

1 諸所に花を贈る時は常に此の課にちなめる聖句諺等を之に添ふべし
2 花の日を紀念すべし當日は參列者は皆一把の花を持ち來り式終りて好む處の病院はた獄舎等を見舞ひ花束を贈呈せらるべし
3 病人貧者を見舞ふ事を忘れざるべし
4 花束等に添ふべき聖句、諺等の好個の印刷物は常に手許に備へ置くべし
5 ジエチー、カゼデーの紀念日には公會を開くべし
6 花卉栽培者と交を結ぶべし
7 安息日教會の裝飾をなすべし殊に禁酒日にはわけて之に力を盡されたし
8 クリスマスには貧者に金品等を惠與すべし
9 花卉の培養を奬勵すべし

○軍人課

1 慰問袋は獨り戰時のみならず平常にても惠與すべし
2 定まりたる集會を兵士の爲に開く事
3 よき讀物聖書禁酒禁煙につきての印刷物を彼等に備ふべし、
4 數々親睦會やうのものを催して彼等に娛樂を與ふべき事
5 眞正の愛國者は其身體を強壯になして奉公の義を完ふするこそ其本分なる事を認めしむる事
6 彼等の集會に辯士を招聘すべし
7 花卉や金圓を以て傷病兵を見舞ひ之に福音を傳ふべし

○風俗課

此の課の働は絕えざる注意を要すると共に甲斐ある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働なり
1 世の母人を教育する事
2 教育者と提携する事
3 風俗に關する必要書類を購求すべし
4 男子の學校には有力なる男子の辯士を女學校には有名なる婦人の辯士を送るべし
5 不品行の生理上に及ぼす結果を研究し且つ醫士の同情を求むべし
6 白十字の誓約をすゝむべし
7 世の慈善家と交はり教育課長と互に助け合ふべし
8 世人をして凡て風俗を紊亂せしむる弊害を惡むに至らしむべし然らばやがて之が匡正の實を見得べし
9 此の課に關する時事問題につき討論すべき事
道德の頽廢は國家滅亡の源たるを忘るべからず

○無酵課

宗派を問はず何れの牧師役員にても此の課の補助たらん事を希ふべし
1 各教會に醱酵せざる葡萄液の見本を送るべし
2 何が人生墮落の原因たるか殊に醱酵したる葡萄液は飮酒の第一の階段たる事を彼等に知らしむる事
3 此の問題に係はる印刷物を配布する事
4 集會を開きて教會員と共に此問題を研究すべし

○工女課

此の課の働は既に開始されて著々歩をすゝめられつゝある事は喜ばしき事なり之につきて感ずる處を述べん
1 工女等と數々會せられたし
2 簡易なる讀物を配布すべし
3 親睦の集を催すべし
4 夜學校を設くべき事
5 度々聖書研究會祈禱會抔にて福音を傳ふべし
6 彼等のうちに禁酒會を催をすべし
7 彼等の寄寓する處を訪問すべき事
8 出來得る丈醫者醫藥の便利を與ふべし

多大の費用を要する働にしてまた望みある働きなり

○教育課

之は尤も大切なる一課にして特に今年は吾等の主義を各公立學校に紹介いたしたきものなり

1 諸學校に校長職員の同情を得る事

2 諸學校に禁酒禁煙等の演説會を開き生徒に聞かしむる事

3 十二月十八日に來朝せらるべきステーブンス夫人の便利を計り活動の野を與へらるべき事

4 身神の惡習慣の結果を研究する事

5 公開演説會を開くべし

6 飲酒の罪惡貧困に及ぼす影響を研究すべし

7 如何にして眞の親睦を計り不經濟なる費用をはぶくべきか相會して其方法を講すべし

8 諸學校に禁煙酒を課程として教科書に編入せられん爲めに運動いたすべき事

此の課の働の上に今年はとくに神の祝福の加はらん事を

○救濟課

1 慈愛館維持の爲めに金員を募られん事

2 救濟事業に關する法律をよく辨へ注意して之に則る事

3 此の課の爲めに特に集會を開かるべし

4 凡ての人の同情を得また巡査の助をかりて事業の發展を計らるべし

5 危難に瀕する子女を救ふて之を養ひ且つ彼等の生活難の上に適當なる方法を講ぜらるべし

6 子女を賣る事の悲慘殘忍なるを其父兄に知らしむべき事

7 天下の人の同情を仰ぎて義捐金を募り貧困に苦しむものを救ひてその子女を賣る弊を豫防せらるべし

8 慈愛館の事業に付きてはマコーレー夫人と相談せられたし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

加藤直士著

小林富次郎傳

禁酒、矯風事業の恩人たる故人の生涯は、摸範的信徒の生涯として、立志傳として、神の恩寵史として吾人の忘るべからざるものです。

四六判二百六十餘頁
寫眞拾壹葉入
定價五拾錢
郵税六錢

四十五年日記 吾家の歴史

最新意匠が用ゐてあります。複式線といつて、野線と點線とを用ゐて、記事の多い人にも、少ない人にも、過不及のないやうに、巧みに出來てゐます。

日記の理想は、誰にても書けるやうな、又誰にても向くやうなのがいゝのです。

此の日記の特別欄は、他の日記のやうに、種々名前が附けてあるのでなく、人々の境遇により、勝手な欄として、重要な記事を書く事の出來るやうになつてゐます。

此の日記以上に、日記は進歩する事は出來ません

特別折革製聖書形金縁（弊店獨得の品）壹圓貳拾錢
クロス表紙上製 五拾錢
郵税各八錢

小形 吾家の歴史

中味は、丸でちがひます、大形の伸縮自在なるに反して、これは、區劃を設け、一日の記事を、往來、爲したる事、社會の出來事、得たる理想、雜事の五つに分ちて、挿入してある言葉は、基督教に關するものばかり、最も高尚なる日記として、廿五年前より愛用されたものです。

特別折革製聖書形金縁（弊店獨得の品）壹圓
クロス製上製五拾錢
郵税各六錢

發兌 東京京橋尾張町 振替東京五五三 **警醒社書店** 本郷春木町 同支店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地 株式會社秀英舍印行